

第60回 日本親子読書センター 夏のつどい



すべてのこどもたちに 読書のよろこびを
心を交わしあう親子読書

日本親子読書センターは、子どもの本をとおして、文庫・図書館・学校などで活動している方、また、子どもの本に興味のある方を支援している団体です。年1回、講演・実習・情報交換の会を開いています。どなたでも参加でき、子どもたち(年少～中学生)の分科会もあります。

日時：2024年7月28日(日) 10:00～16:00

会場：三鷹市市民協働センター 2階第1会議室

東京都三鷹市下連雀 4-17-23 JR 三鷹駅南口徒歩 15 分(バス便あり)

10:15～(受付開始 10:00)

大人が楽しむ
おはなし会

子どもの部屋 (年少から参加可能)

本のプレゼントあり♪

大人とは別室で工作や本読みを楽しみます

13:15～(受付開始 13:00)

講演 「聞くことのコップ」が満ちるまで
—幼年文学を手渡すために、そして、詩についても—

みやかわ たけお
講師 宮川健郎さん

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団理事長
武蔵野大学名誉教授



あんなに絵本をたくさん楽しんできたのに、一緒に読まなくなったら本を読んでいる子どもの姿を見なくなった……と思ったことはありませんか。幼い子どもたちが読み聞かせから一人読みに移行し、豊かな本の世界を味わえるようになるためにできることは？

「声は体の続き」だから「声で読んであげることは子どもを抱っこすることと同じこと」とおっしゃる宮川さんにお話をさせていただきます。

午後の講演のみ

後日オンライン視聴あり

主催：日本親子読書センター

後援：(一社)日本子どもの本研究会
親子読書地域文庫全国連絡会

大人が楽しむおはなし会



普段は子ども向けのおはなし会でやっている昔話や創作の物語の「語り」を大人の方に楽しんでいただく会です。
ご一緒におはなしの世界を旅してみませんか？

講演会

◇この講演は 後日オンライン視聴もあります。

講演:「聞くことのコップ」が満ちるまで 一幼年文学を手渡すために、そして、詩についてもー

講師:^{みやかわ}宮川^{たけお}健郎 さん

(一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団理事長 武蔵野大学名誉教授)



〈プロフィール〉

1955年、東京都に生まれる。立教大学文学部日本文学科卒業、同大学院修了。児童文学研究者。一般財団法人大阪国際児童文学振興財団理事長。武蔵野大学名誉教授。宮沢賢治学会イーハトーブセンター理事。あまんさみこ研究会代表。

『国語教育と現代児童文学のあいだ』(日本書籍、1993年)『現代児童文学の語るもの』(NHKブックス、1996年)『物語もっと深読み教室』(岩波ジュニア新書、2013年)『ひとりだよめたよ！幼年文学おすすめブックガイド200』(共編著、評論社、2019年)など著書編著多数。

	内	容
10:00	受付開始 開会 オープニング行事 大人が楽しむおはなし会	2階 第1会議室
11:40	昼食タイム(各自で食事)	
13:00	代表あいさつ オープニング行事 講演:「聞くことのコップ」が満ちるまで 一幼年文学を手渡すために、そして、詩についてもー 講師:宮川健郎さん 休憩 質疑応答	
15:30	閉会の集まり 参加者感想 子どもの部屋の報告等	子どもたちが合流
16:00	閉会・解散	

※昼食は会場内に持ち込みできます。

子どもの部屋

年少から中学生まで参加できます

10:00	親と一緒に受付 オープニング行事のあと、先生と一緒に 子どもの部屋へ移動 先生と工作をしたり、本読みを楽しもう。
11:40	昼食(おとなと一緒に食事)
13:00	午前の続きの工作、本のプレゼント 片付け 閉会の集まりに合流 子どもの部屋の報告
16:00	閉会・解散

工作したい

作ったおもちゃ
で遊んだい

絵本やおはなし
を楽しんだい

学年の違う子どもたちが集まって、専属の先生とかつて参加者だったお兄さんお姉さんたちと一緒に過ごします。ものづくりの先生が準備から完成まで丁寧に指導。周りの子どもたちもいつのまにか協力して自分だけの作品が完成。絵本読みやおはなしも楽しめます。

参加した子どもたちには、本のプレゼントがあります！



〈2023年 夏のつどい 子どもの部屋のようす〉



< 日本親子読書センターの紹介 >

1967年(昭和42年)設立。東京都小金井市の教員による親子読書の会が5年の歳月をかけてセンターを発足しました。創設者代表は斎藤尚吾。当時の活動目標は、

- ①親子読書を広め深める。
- ②どの子にも楽しい読書の場を保障するため、文庫をつくる・図書館などの読書環境整備の運動を興す。
- ③未来をつくる子どもたちに良い本を出合わせる。子どもの本と生活を研究する。というものでした。

56年目の今年も創設の精神を受け継ぎながら、子どもの本に関わる活動をしている方々を支援するため、「夏のつどい」開催、機関誌による情報交換を行っています。

『子ども文庫の100年』みすず書房 2018年刊 『生きるための図書館』岩波新書 2019年刊に、当センターが紹介されています。

年会費 2,000円 機関誌『つうしん』年3回発行

夏のつどい参加の際に入会すると会員価格で参加でき、今年4月発行の機関誌『つうしん 18号』を当日お渡しします。次回発行の『つうしん 19号』には夏のつどいの報告を掲載します。

申し込み方法

日本親子読書センターホームページから

「会場参加」「後日オンライン視聴」「両方」のいずれか選んでください。

センターホームページの〈夏のつどい申し込みフォーム〉から申し込みをお願いします。申し込み後、〈参加費振込先〉へお振込みください。振込をもって受付完了となります。

※「後日オンライン視聴」を申し込みの方は、振込み完了後、視聴用 URL、視聴期間(概ね2週間の予定)等詳細をメールでお知らせします。

《子どもの部屋》(年少～中学生)(定員10名)

大人と一緒に申し込みしてください。昼食を除いて大人と別々に「子どもの部屋」で活動します。

子どもは保険をかけます。(参加費保険料込み) 本のプレゼントがあります！

参加費	会場参加(A)	後日オンライン 視聴(B)	両方(A+B)
会員	2,000円	1,000円	2,500円
会員外	2,500円	1,500円	3,500円
子ども	2,000円		

受付開始:4月25日から
会場締切:6月30日まで
後日オンライン視聴締切:7月15日まで
会場定員100名(会員優先、先着順)

〈参加費振込先〉

郵便振替 口座番号 00170-2-37386

加入者名 日本親子読書センター

他の金融機関からの振込 銀行名:ゆうちょ銀行 金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座
店名:〇一九(ゼロイチキュウ店) 口座番号:0037386

※入会して参加する場合は、年会費 2,000 円を一緒に振り込んでください。会員価格で参加できます。

※振込み後のキャンセルは手数料を引いて返金します。当日キャンセルは返金できません。

【センター会員の方へ】

機関誌に同封の郵便局払込取扱票での申し込み方法については、「つうしん(第3期18号)」6 ページに掲載し

ています。詳しくはそちらをご覧ください。ホームページ申込フォームからでも申し込みができます。

(バスのご案内/小田急バス)

JR三鷹駅より

三鷹駅より約1km/徒歩:約15分

②番のりば 調布駅北口(鷹56)行き

八幡前・芸術文化センター前下車 徒歩5分

③番のりば 深大寺・神代植物公園前行き

⑤番のりば 国際基督教大学・調布駅北口

武蔵小金井駅南口・大沢・大沢十字路行き

⑦番のりば 仙川・晃華学園東・新川団地中央行き

八幡前下車 徒歩3分

京王線 調布駅より

⑩番のりば 三鷹駅行き

八幡前・三鷹芸術文化センター前

下車 徒歩約5分

京王線 仙川駅より

①番のりば 三鷹駅行き

八幡前下車 徒歩約3分



※三鷹市市民協働センターへのご来館は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

【問合せ・申し込み】

日本親子読書センター

<https://oyakodokusyo.org>



←アクセスはこちらから